

文部科学省補助金事業「コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム」令和元年度オリエンテーションを開催しました (2019/6/15)

テーマ：あらゆる災害、あらゆるフェーズ、あらゆる立場で災害マネジメントできる人材の養成
場所：東北大学医学部（宮城県仙台市）

2019年6月15日(土)、宮城県仙台市の東北大学医学部6号館において、文部科学省補助金事業「コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム」の令和元年度オリエンテーションが開催され、当研究所 災害医学研究部門 災害医療国際協力学分野の佐々木宏之助教がプログラム運営企画委員会委員、実習コーディネーターとして参加しました。

「コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム」は、災害大国である我が国の災害医療体制において、平時から災害の種類にかかわらず災害対応体制を整備し、急性期のみならず慢性期までのあらゆるフェーズにおいて、実践的なスキルを持ち現場で指揮を取ることのできる「コンダクター」として活動できる人材の養成を目的としたプログラムです。津波や地震などの自然災害、福島原発事故に代表されるCBRNE災害などの人為災害も対象とし、避難者、被災地住民のヘルスケアをより効率的に実行できる能力、多組織と円滑に連携し災害医療救護活動を展開できる能力を身につけます。

今年度は災害マネジメントコース（履修証明プログラム）が開講し、当初の募集定員を大幅に上回る25名の受講生（医師4、歯科医師5、看護師11、薬剤師2、放射線技師1、その他2）が合格しました。6月15日(土)に開催されたオリエンテーションではプログラムの概要、単位の取得方法、受講登録などについて説明があり、仙台地区での主会場となる災害科学国際研究所について佐々木助教が説明を行いました。

今年度、プログラムはホームページ（<https://www.dcmd.hosp.tohoku.ac.jp>）に示されるカリキュラムに沿って進められます。来年度からは社会医学系専門研修コース、大学院コース（修士課程、博士課程）（両コースとも間もなく募集開始）も開催され、より多くの災害保健医療人材が当研究所を利用し学習して、災害時の「コンダクター」として社会に巣立ちます。



写真：
左：事業責任者の石井正教授（東北大学病院）、
右：災害マネジメントコース（履修証明プログラム）に参加する受講生、

科目名	授業内容	実習		座学			
		災害保健医療トレーニング 実習単位	実習時間	災害保健医療セミナー 講義単位	講義時間	災害科学概論 講義単位	講義時間
1 CBRNE対応実習	(化学・生物・放射性物質・核・爆発物)災害対応、緊急被災医療などのあり方や方略を学ぶハンズオンセミナー。	0.5	8	-	-	-	-
2 災害保健医療コーディネーションセミナー	災害保健医療本部において適切なコーディネーションを行うために必要な知識を獲得する。	-	-	0.5	8	-	-
3 災害保健医療コーディネーション実習	災害保健医療調整本部内で、医療に関する調整業務や保健衛生に関する調整支援のためのコーディネートの実際を体験する。	1	15	-	-	-	-
4 災害急性期活動実習	災害や多数傷病者発生時の初期対応スキルを学ぶためのハンズオンセミナー。	0.25	4	-	-	-	-
5 災害公衆衛生セミナー	⑤と⑥は同時に開催する。「支援の質とアカウントビリティ向上ネットワーク」が実施している被災地人道支援トレーニングコースをカスタマイズし、被災者の健康管理（急性期～慢性期）の視点から、国内や地域の自然災害事例を取り入れた実際の支援時や計画時の留意点や考え方について学ぶ。	0.25	4	-	0.5	8	-
6 災害公衆衛生実習	災害時に病院などの組織が適切に対応するための、平時からの備え（防災訓練、BCP）のあり方について学ぶ。	-	-	0.5	8	-	-
7 災害時組織対応セミナー	DPAT（災害派遣精神医療チーム）のトレーニングコースとPFA（psychological first aid：災害時の不安対応と心理的応急処置）を組み合わせたハンズオンセミナー	0.5	8	-	-	-	-
8 災害メンタルケア実習	災害発生時、後方（非被災地）から被災地に救護班やDMATを派遣するなどの支援活動に必要な知識、調整スキルを習得する。	-	-	0.5	8	-	-
9 災害派遣セミナー	地震、津波などの科学、備えと避難に関する科学など、保健医療以外の災害分野について、多角的な視点で学習する。	-	-	-	-	0.5	8
10 災害科学概論	災害時の薬物対応の原則や薬事トリアージ、薬剤師と他職種連携のあり方等について学ぶハンズオンセミナー。	0.25	4	-	-	-	-
11 災害国際協力セミナー	国内外の災害時における災害支援や防災への取り組みなど、国際協力活動に関する知識や経験を学ぶ。	-	-	1	15	-	-
12 災害歯科学	災害時の歯科医療、歯科保健審美歯科所見からの身元確認など災害時における歯科医学全般についての知識を習得する。	-	-	0.5	8	-	-
13 災害歯科学	避難所アセスメントなどの情報管理、通信確保など、災害時に必要なロジスティック活動に関するハンズオンセミナー。	0.25	4	-	-	-	-
14 ロジスティックサポート実習		3	47	3.5	55	0.5	8

←
履修証明プログラムのカリキュラム（2年間）